

時代の証言者

アーティストは皆、生涯をかけて何か大切なメッセージを伝えようとしているのではないかと私は思っています。そのメッセージは、ステージを通して本人のちよつとした仕草や声のトーンなどに表れて、ふつと懐に飛び込んでくる瞬間があります。

エルビス・プレスリーとマイケル・ジャクソンに、その瞬間を感じました。好きだから、実際に見て、いるから、どういふ思いを託して歌っているのか、痛いほどわかるのです。

晩年のエルビスは、多くのファンに囲まれながらも、孤独でした。1972

音楽は愛 湯川 れい子 24

大スター 孤独な晩年



1992年の来日時、東京スクールオブミュージック専門学校にお忍びでマイケル・ジャクソンと（湯川さん提供）

年冬のラスベガスのコンサート千秋楽の日、妻が一人娘を連れて、エルビスの空手教師と駆け落ちしてしまいます。ストレスで食べられなくなつて食欲増進剤を飲み、睡眠薬を多用する日々。どんなに有名な人であっても、自分が愛する人がいて、自分を必要としてくれる人がいて、家に帰れば笑顔で迎えてくれる。く当たり前の日常の幸せが欲しい——エルビスの歌には悲痛な願いが込められているように、深く胸を打たれました。

マイケルには、73年に初めてインタビュしてから11回ほど会っています。92年の来日公演の時には、私が名誉校長を務める東京スクールオブミュージック専門学校に来校、ゴスペ

ル隊の学生が彼の「ヒーロー・ザ・ワールド」を日本語で歌うのを聴いても、すごく感動し、写真撮影にも笑顔で応じてくれました。その10年前のインタビュの時のようにもう本音で語ってくれる機会はありませんでしたが、私が受け取ったメッセージは明確でした。

自分の子供時代にはかなわなかったけれど、世界中の子供たちにファンタジーの世界をもっと見せてあげ

たい、子供たちは憧れや夢があるからこそ成長できるのだと。映画「E.T.」(82年公開)に感銘を受けて、自分でも、アルバム「スリラー」を発表する際に、幻想的なショートフィルムを制作しました。

《マイケルが朗読を担当した「E.T.ストーリーブック」は、84年の最優秀子供向け作品アルバムでグラミー賞受賞。「E.T.」自分の人生は重なる。見知らぬところにおいて、自分が受

け入れられることを願っている」と語った》

マイケルは、エルビスの娘、リサ・マリー・プレスリーと2年間弱の結婚生活を送っていました。2009年に亡くなった彼の死に寄せて、リサはブログに、「マイケルが落ち着いた様子で、『僕は、君のお父さんのような最期を迎えるかもしれない』と言ったことがある」と書いています。彼は、自分の死を予期していたということです。

常人を超えるパワーの持ち主だったエルビスもマイケルも、過密なコンサートスケジュールを組まれ、孤独地獄の中で薬に頼り、倒れるまで歌い続けたアーティストでした。スターであることの光と影……。私たちが夢をもち熱狂してきた2人に、皮肉なことに、あまりに悲しい共通点が多かったのです。

(編集委員 永峰好美)